

「人文科学コース 10期生」発進!!

平成24年度より「いしかわニュースーパーハイスクール（NSH）」の指定を受けてスタートした「人文科学コース」。10期生となる今年の21H（人文科学コース）は40人。彼らが、その柔軟な発想と探究心で本校の新しい歴史を作っていくてくれることを期待しています。

●「人文科学コース」ってなに？●

人文科学コースとは、

1. 人文科学系・社会科学系分野の興味・関心を高め、幅広い教養を身につけた、国際社会や地域社会で活躍するリーダーの育成を目指します。
2. 特色あるカリキュラムを編成し、学校設定教科「人文科学」（課題研究）を活用して、思考力や探究力、表現力を育成します。
3. 東大・京大をはじめとした難関国立大学への進学を目指し、確かな学力とともに、地域の教育力を活用した人間力の育成をはかります。

●課題探究活動ってなに？●

探究活動とは、自ら問いを立てて、それに対して答えていく学習です。今、世の中がどんなふうに進んでいるか知っていますか。国の枠組みを超えて人や物や情報が行き交うグローバル化が進み、AIが台頭し、社会の枠組みが大きく変化してきています。例えば、科学上の発見が直ちに技術革新に転化され、私たちの生活が豊かになったり一方で、世界規模での感染症の流行により私たちの生活が大きく変わったりしています。社会が変化することで、これまで「正解」とされてきたことが変わってくる可能性さえあります。その中で自らの問題意識に基づき課題を設定し、主体的に解を作り出す能力が求められているのです。

人生において「目標」を持つことの意義については、言うまでもありません。しかし、先の見えないこの時代において「目標」を持つことは難しいことです。では自分なりの「目標」を持つには、どうしたらよいか。まず自分がどういう興味や関心を持っているかを知るところから始まります。そしてその領域に関する情報を集め、「現実」をしっかりと認識し、同時に自分の「夢」を考えるのです。そうすると「現実」と「夢」の相違が見えてきて、「問題」が発見できるのです。その「問題」解決が、自分の「目標」となります。

他の誰にも真似できない自分なりの目標を持つための訓練を「探究学習」が担ってくれます。人文科学コースでは、週2時間がこの課題探究活動、通称「Jゼミ」に充てられています。

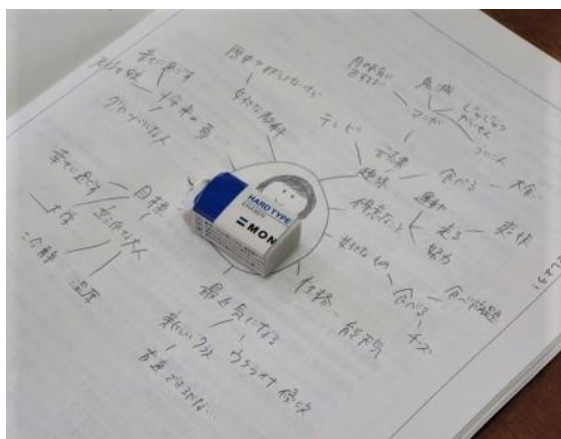
●NSH担当スタッフ紹介● よろしくお願ひします！

松原郁男(室長・英語) 小林樹実(地歴) 芝田知加(英語) 岡部誠(国語) 中谷内明加(国語)
江川未来(英語) 茨城充(英語) 太多誠(地歴) 大茂祥平(地歴)

●Jゼミの様子●

4月12日 Jゼミ開講式

Jゼミ開講に先立ち、校長先生から人文科学コースの歴史や課題探究の意義などについて話していただきました。その後、研究の進め方のレクチャーに加え、今現在の自分の興味関心を見つめ直すワークショップが行われました。マインドマップの中心に自分の名前を書き、そこから枝を伸ばしていくことで気づかなかった自分の興味関心を見つける生徒も見られました。



4月19日 先生による卒論発表会、教科に分かれ探究活動スタート

この日は国語、英語、地歴公民の各教科の先生による大学時代の卒業論文発表会を行いました。研究の中身だけでなく、「なぜその研究をしようと思ったのか（動機）」「研究でつまづいたことは何か」を中心に話を聞きました。卒論発表を通して、研究のテーマ決めの重要性や膨大な資料を集め調査する必要性について気付くきっかけとなったようです。その後は、実際に人文科学、社会科学、国際学の3領域に分かれ、さらに興味のあるトピックごとのグループに分かれて探究活動のスタートです。



(卒論発表会を終えての生徒の感想)

- ・研究をしていく上で、テーマ決めはとても重要だと思った。また、資料を読むために言語を習熟するなど資料を通して様々な学びがあるのだとわかった。
- ・身近なことや自分の興味のあることをきっかけに研究がスタートしていることが多いと感じたので、自分も身近なこと、自分のことにもっと目を向けてみようと思った。
- ・研究の結果も大切だが、それをその後どのように生かしていくか、結論を他のことに広げられたらいいなと思った。
- ・どの研究も様々な角度から研究を深めていっていたので、今後Jゼミを進めて行くときには視野を広く持ち、いろいろな視点・分野から考えることを大事にしていきたい。